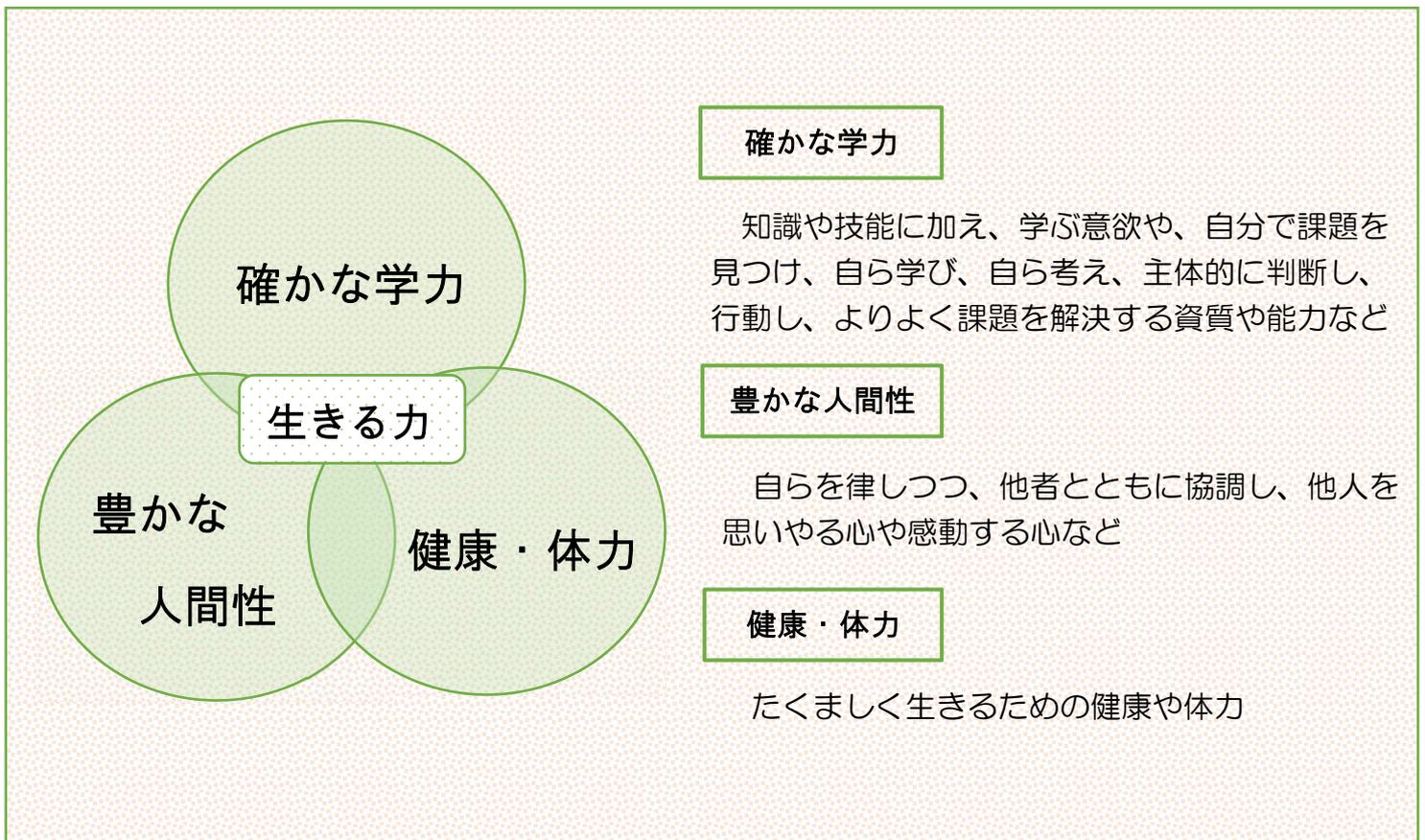


愛西市教育委員会では、愛西市立小中学校の適正な規模の検討並びに老朽化対策を進めています。  
 今回 (Vol.9) は、「適正化事業に対する愛西市教育委員会の考え方」「第Ⅰ期基本計画に係るパブリックコメント」について、お知らせします。

## 適正化事業に対する愛西市教育委員会の考え方

### 子どもたちへの思い

私たちを取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化、グローバル化、急速な情報化、AI（人工知能）の活用による技術革新等、数年前では考えられなかったような激しい変化が起きています。このような社会の変化を見据えて、子どもたちがこれから生きていくために必要な資質や能力を身につけることが重要だと考え、以下のような力を育むことが求められています。



(文部科学省ホームページ要約)

市内の子どもたちに上記の生きる力を身につけていただくため、環境整備をする必要があります。本市教育委員会では、学校で単に子どもたちに教科等の知識や技能を習得していただくだけでなく、集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、高め合いながら、思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けていただくことが重要だと考えています。

裏面には、「適正化事業に対する愛西市教育委員会の考え方」の続き、「第Ⅰ期基本計画に係るパブリックコメントについて」について掲載しています。

これまでいただいた適正化事業に関する多くのご意見について、市教育委員会の考え方を以下のように整理しました。

## ○通学について

### （１）通学方法

国の基準では、小学生はおおむね４キロメートル以内、中学生はおおむね６キロメートル以内での通学が原則となっています。

本市では、国基準の範囲に縛られず、学校の統廃合によって通学距離・時間が長くなる児童生徒に対して、無償でのスクールバスの運行を含め、安全で心身に過度の負担がかからない通学方法の柔軟な運用を検討します。



### （２）通学路の決定・整備

徒歩及び自転車で通学をする場合、安全に通うことができる通学路がどの道なのか、様々な観点から検討します。

通学路の決定後、道路管理者や警察と協議を行いながら、通学路の整備を行っていく予定です。



## ○関係校の事前交流について

学校の統合を進める中で、子どもたちが統合後の人間関係に不安を抱くことが予想されます。

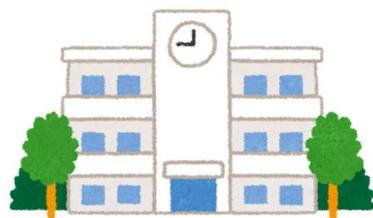
不安な気持ちを払拭して新しい学校に通えるように関係校の児童生徒の交流を進めていく予定です。



## ○学校施設の役割について

学校施設は、子どもたちのためだけにあるのではなく、生涯学習、スポーツ等の活動場所、地域防災拠点等地域住民にとって核となる身近な施設でもあります。

各地区の地域性や歴史に十分配慮して将来の学校像を考え、必要な施設整備について検討します。



## 第Ⅰ期基本計画に係るパブリックコメントについて

令和６年１月９日から３１日まで、第Ⅰ期愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画（案）に関するパブリックコメントを実施しています。計画案をご覧いただいた方、ご意見をいただいた方、誠にありがとうございました。

期限を迎えましたら、いただいたご意見に対する市の考え方をお知らせし、市のホームページ、またはふれあい箱が設置してある施設でご覧いただけるようにいたします。なお、一部を抜粋したものにりますが、今後、チラシでもご紹介いたします。